

主題名：かけがえのない命 D生命の尊さ

資料名：たんじょう日（東京書籍）

男子15名 女子20名 計35名

主題について

指導者 中嶋 奈保子

ねらいとする価値

生命を大切にし、尊重することは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた、多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の現れと言える。ここでは、日々の生活経験の中で、生きていることのすばらしさを感じ取ることが中心となり、自分の誕生と家族との関わりを通して、生命の尊さについて考えを深めていく。自分の誕生を心待ちにし、常に大きな愛情で支え、見守り、育ててきてくれた家族の思いに気が付き、自分の生命がかけがえのないものであると自覚することをねらいとしている。

児童の実態

- ① 児童は11月に「生命の尊さ」の内容項目で、「嬉しい」「楽しい」と思えることが生きているからこそ味わえる喜びだということを学習した。
- ② 本学級の児童は、「命は大切なもの」ということは理解しているが、自分の命が家族の大きな愛情で支えられ、見守られているということを実感している児童は少ない。
- ③ 道徳の時間では、恥ずかしさや自信のなさから、発言する児童が限られている。また、「楽しい」や「悲しい」など簡単な言葉で気持ちを表すことが多く、理由付けしたり、自分の経験と関連付けたりしながら気持ちを表現することが難しい。

教材について

本教材は、母親から誕生当時の話を詳しく聞き、母親の深い愛情によって支えられ、守られてきたことを知ることから、生命の尊さについて考える話である。本学級の児童は、「命は大切なもの」という思いはもっているが、家族の支えや気持ちを理解するまでには至っていない。なつこの気持ちを共感的に考えたり、保育器の中を見つめる母親の気持ちを考えたりすることで、一つの命が多くの人に大切にされていることを感じ取り、ねらいとする道徳的価値に迫ることができ教材である。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○ 児童が実感を伴う納得解を得、実生活に生かすことができる道徳学習プログラムの作成

現段階の児童は、生まれてきたら元気に大きくなり、誕生日には、プレゼントをもらったり、ケーキで祝ってもらったりすることが当たり前だと思っており、自分自身の誕生や今まで生きてきたことがどれだけ貴重なものであるかということに気付いていない。そこで、児童自らの気づきを引き出すために、道徳学習プログラムを作成し、次のような工夫をする。

①生活科「あしたへジャンプ」

自分の成長や変容を振り返ったり、身近な人々にインタビューしたりする活動を通して、誕生から現在までの自分の成長や家族の思いに気付かせる。

②本時の学習

母親やなつみの気持ちを考えるときに、生活科の学習を関連させながら、生命の尊さについて考えさせていく。展開後段では、「とてもすばらしいプレゼントとは何でしょう。」と問いかけ、今まで8年間積み重ねてきた命の尊さや家族の支えについて気付かせ、これからも命を大切にしていこうとする心情を育んでいく。

③家庭との連携

事前保護者に誕生した時の気持ちや心配したことなど、誕生当時の事を手紙を書いてもらい、読んで感想を伝える活動を取り入れる。手紙を読むことで、自分自身の命も家族の大きな愛情で支えられ見守られているということを実感できると考えられる。

○ 発問の工夫

本授業は【A共感的な発問】【A共感的な発問】【A共感的な発問】【B分析的な発問】【D批判的な発問】の順で5つの発問を計画している。主人公や母親と共感することができるように【A】の発問から教材に入る。そして、命の尊さについて考えを深めていくために、【B】【D】の発問を取り入れ、本時でねらう道徳的価値観へと迫っていく。各発問の意図については、本時の学習展開に述べている。

本時の学習

(1) 本時の目標

自分が誕生したときの話をお母さんから聞いたなつこの心情を考えたり、保護者からの手紙を読んだりすることを通して、多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にしようとする心情を育む。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □発問の意図 *評価
気 付 く	1 「命の大切さ」について考える。 ○ なぜ命は大切なのでしょう。 ・一つしかないから。 ・命がなかったら、好きなことができないから。 ・家族や友達に会えなくなるから。	◇ 今までに「命の大切さ」について学んできたことをアンケート結果で示し、ねらいとする価値への方向付けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> どうしていのちは大切なのか。 </div>
と ら え る	2 「誕生日」のイメージを考える。 ○ 「誕生日」と聞いて何を思い出しますか。 ・プレゼント。 ・誕生日会。 ・誕生日ケーキ。 3 「たんじょう日」を読んで話し合う。 ○ なつこはどんな気持ちで誕生日を迎えたのでしょうか。 【A共感的な発問】 ・プレゼントは何かな。 ・早くケーキが食べたいな。 ・誕生日会が楽しみだな。 ○ お母さんは、どんな思いで40日間、保育器の中のなつこを見ていたのでしょうか。	□発問の意図 誕生日を心待ちにしているなつこの思いを共感させるために、【A共感的な発問】を設定した。 母親の立場に立ち、多面的・多角的に命について考えさせるために、【A共感的な発問】を設定した。惜しみない愛情に包まれてきたことを理解するとともに、生まれてきたら元気に成長することが当たり前ではなく、命を落としてしまうこともあることに気付かせたい。

	<p>【A分析的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もしものことがあったらどうしよう。 ・自分の子どもなのに抱けないのがさみしい。 ・早く抱っこしたい。 ・一人ぼっちにさせてごめんね。 <p>○ 初めてお母さんの話を聞いたなつこの心の中は、どんな思いになったのでしょうか。</p> <p>【A共感的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は助からなかったかもしれないんだ。 ・40日も保育器に入っていて、お母さんに心配をかけたんだな。 ・毎朝お乳を届けて大変だったんだな。 ・保育器に入って、抱くことができなくて、さびしかったんだな。 ・そんなに苦勞して大切に育ててくれたんだな。 <p>補助発問 なつこはこれから自分の命をどうしていきたいと思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん心配かけたから、これからは、心配かけないようにしていきたい。 ・大切に育ててくれたから、自分の命を大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 保育器の中にいるなつこを見つめるお母さんの絵を黒板に貼り、お母さんの気持ちを引き出す。 ◇ 保育器や、毎朝、母乳を届ける理由について補足説明をする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□発問の意図</p> <p>お母さんの話を聞いたなつこの気持ちを考えることを通して、一つの命がたくさんの人に大切にされていることに気付けるように【A共感的な発問】を設定した。また、たくさんの愛情を注がれて育ってきた自分自身を大切にし、これからもその命を大切にしようとする心情を育みたい。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">深める</p>	<p>4 誕生日のとても素晴らしいプレゼントとは何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● とても素晴らしいプレゼントとは何でしょう。 <p>【B分析的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の大切な命。 ・生まれたときの話をしてくれたこと。 ・大切に今まで育ててくれたこと。 ・家族の愛情。 ・命の大切さに気付かせてくれたこと。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□発問の意図</p> <p>誕生日には、プレゼントをもらったり、ケーキで祝ってもらったりすることだと思っている児童が多いと考えられる。「なつこがもらった素晴らしいプレゼントとは何か」を問う【B分析的な発問】を取り入れることで、本時でねらう道徳的価値を児童自身が考えることができるようにする。</p> </div>

見 つ め る	<p>5 ゲストティーチャー（田島先生）の話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>命がお腹に宿った時の気持ちや、胎児とどのような対話を日々しているのか、誕生を心待ちにしている思いなどについての話を聞く。</p> </div> <p>6 命の大切さについて考える。</p> <p>○ どうして命は大切なのでしょう。</p> <p>【D批判的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の事のように心配してくれたり喜んでくれたりする人がいるから。 ・家族に望まれて生まれてきたから。 ・自分一人ではなく、家族や周りの人に大切にされている命だから。 	<p>◇ ゲストティーチャーの話を聞くことを通して、家族の愛情は生まれる前からずっと続いていることに気付かせる。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>□発問の意図</p> <p>今までは、命は一つしかなく、自分自身が「嬉しい」「楽しい」と思えるから命を大切にしなければならないと思っている。そのため、【D批判的な発問】を取り入れることで、自分の命に対して、愛情をもって育ててきた家族の思いに気付かせ、本時でねらう道徳的価値観に迫る。</p> </div> <p>◇ 生活科「あしたへジャンプ」の学習と関連させながら「命の大切さ」について考えることができるように、これまでの学習を掲示しておく。</p>
あ た た め る	<p>7 保護者からの手紙を読み、思ったことや命の大切さについて気付いたことを発表する。</p> <p>○ おうちの人からの手紙を読んで、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も、おうちの人に大切に育てられてきたんだな。 ・たくさんの心配をかけたけど、この命を大切にしていきたいな。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>□家庭・地域と一体となった体験活動を含む「道徳学習プログラム」との関連</p> <p>事前に保護者に、誕生した時の気持ちや心配したことなど、誕生当時の事を手紙に書いてもらい、それを読むことで、自分の誕生を心待ちにし、大きな愛情で支え、見守り、育ててきてくれた家族への思いに気付き、これから、自分の命を大切にしていこうとする心情を育む。</p> </div> <p>* 誕生を心待ちにし、常に大きな愛情で支え、見守り、育ててきてくれた家族の思いに気付き、自分の生命をかけがえのないものであることを自覚しているか。 (ワークシート、発言)</p>